

目でみる30年

《街の様子》



仕事を終え街を歩く労働者（昭和36年ころ）



朝、露店で食事する労働者

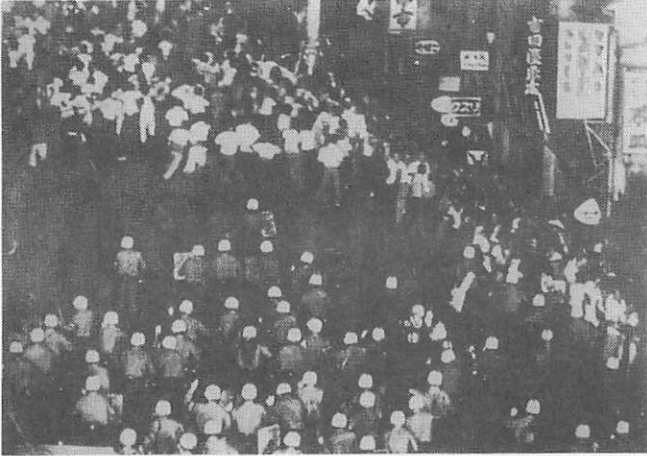


屋台と路地で遊ぶ子供たち

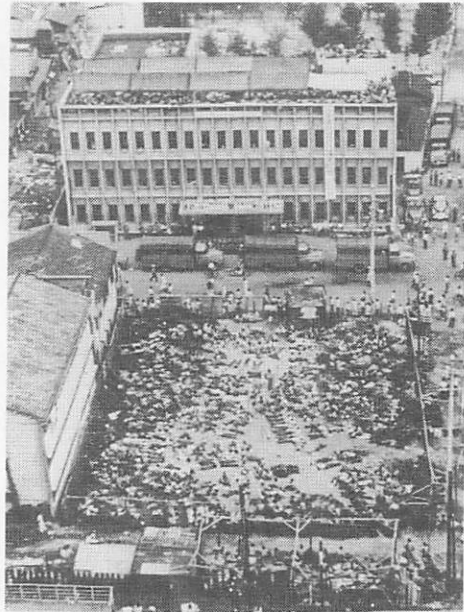


新聞報道による第一次暴動
(昭和36年8月1日～3日)

- 昭和38年8月1日第1次釜カ崎事件発生以来、48年6月までに21回繰り返し発生した。
- 48年6月以降は平穏に推移したが、平成2年10月2日、17年3ヶ月ぶりに発生した。



東田町派出所が襲われたあとの状況
(サンケイ新聞社提供)



西成署屋上や前の広場で休息する機動隊員
(サイケイ新聞社提供)



《簡易宿泊所》

地区内の簡易宿泊所は
約 230軒

宿泊料 85円～500円
(43年ころ)





旧西成労働福祉センター

《求人・求職》

財西成労働福祉センターは地区労働者の就労と生活の安定を図るため、37年10月1日に設立、発足。

(45年10月1日あいりん総合センター完成に伴い移転。)

求職相談する労働者



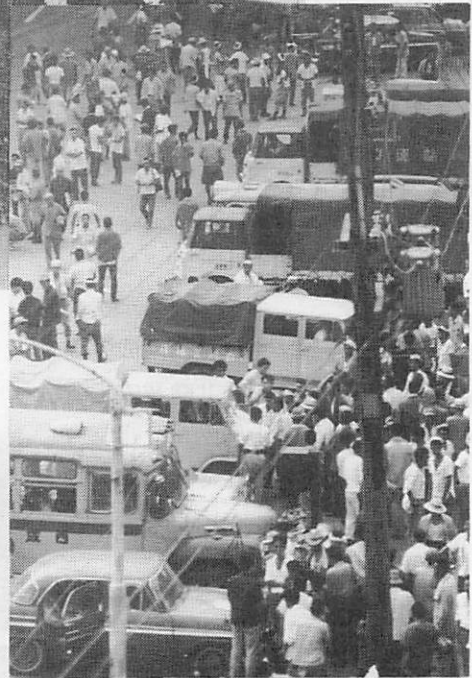
求人トラックに乗った労働者

早朝の求人・求職風景（37.10～45.10）



市道尼崎－平野線道路拡幅予定地は、
早朝求人、求職で大混雑となる。

- 就労先は大別して港湾、運輸、建設、
製造、その他
- 賃金は、大体 1,000円/日
(38年ころ)



午前7時、求人トラックや乗用車で
現場に向かう労働者



三角公園からバスで大阪港職安に行く
登録日雇港湾労働者

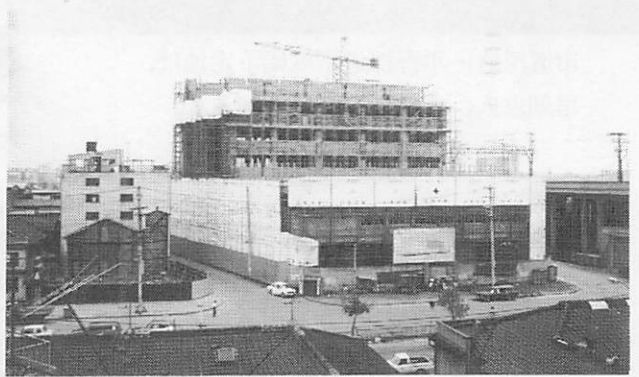
〈あいりん総合センター建設〉



43年4月 建設予定地のKK
珍々堂建物の解体工事始まる。

建設中の総合センター

あいりん総合センターは、西成労働
福祉センターのほか公共職業安定所、
医療センター及び上層階は、市営今
宮住宅の複合公共施設です。

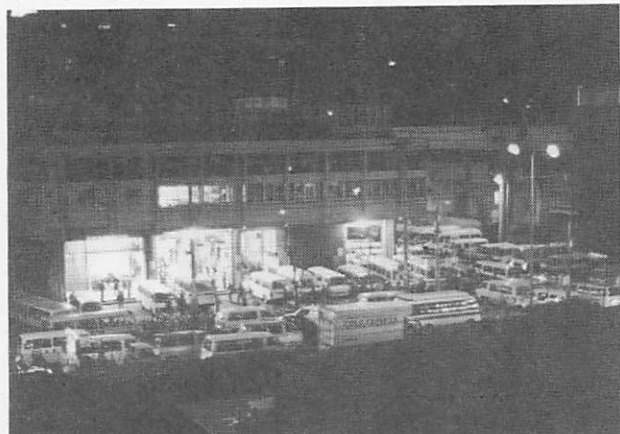


45年10月竣工したあいりん総合センター

完成したあいりん総合センター及び周辺での求人・求職状況
(46年頃)



あいりん総合センター寄場での求人・求職状況（現在）



朝、5時に寄場のシャッターが開く。

早朝時における就労あっせんは、求人者と求職者が寄場内でセンター発行の「求人プラカード」を仲立ちに双方が直接話し合い雇用関係を成立させる「相対紹介」という方法によっている。



労働者で混雑する寄場
（昭和63年5月撮影）



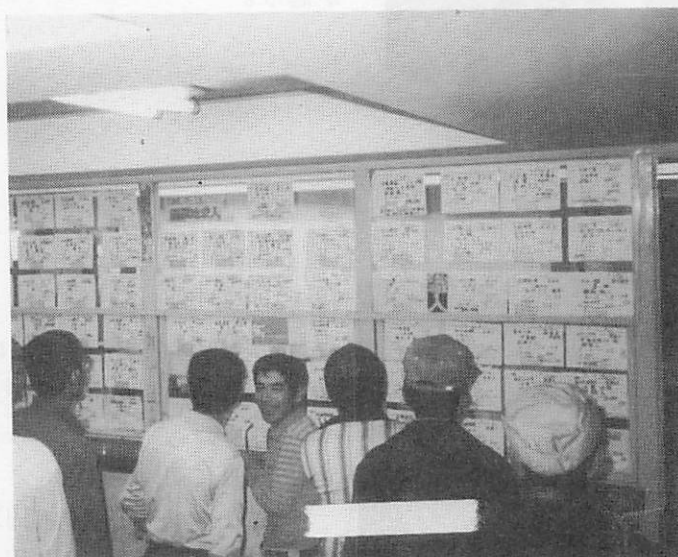


紹介窓口を訪れる労働者

期間雇用（30日以内の期間を定めて雇用する）と一般雇用（30日を越える長期）は紹介課窓口で紹介。

就労先の産業別割合（平成3年度）

運輸業	建設業	製造業
2.1%	95.5%	2.4%



紹介窓口に掲示された求人票を検討する労働者

「将棋愛好者のつどい」



56年から年1回行っており、今年(4年5月)は、プロ棋士を招いて6面打ちもあり、大盛況。

「たそがれコンサート」



三角公園にて大阪府立淀川工業高校吹奏楽部の協力を得て行っている。

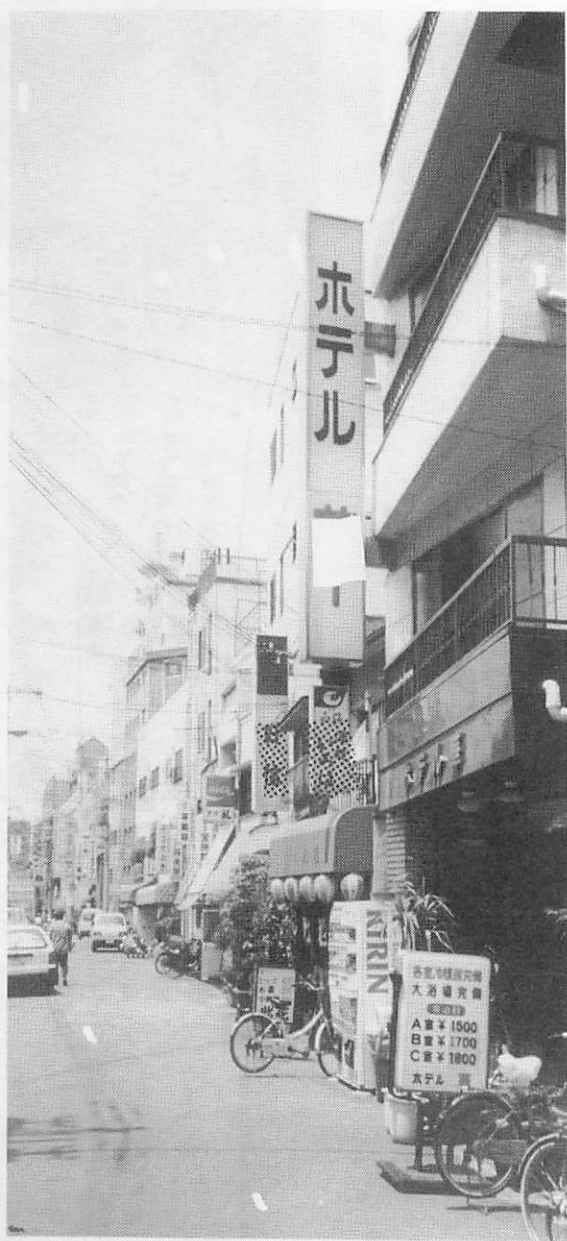
毎年、地区労働者1,000名が憩う。

「福利厚生資金の支給」



日雇雇用保険手帳所持者には、夏冬の2回福利厚生資金が支給される。

46年夏に初めて支給。
 (1,600円)
 平成3年夏 13,200円
 冬 14,300円



簡易宿泊所（ドヤ）の外観も豪華になった。



市道 尼崎～平野線沿の簡易宿泊所(ドヤ)街＝平成4年8月撮影＝

年 表

年 代	社 会 の 動 き	地 域	西 成 労 働 福 祉 セ ン タ ー
1961年(S. 36)	(10. 2)大鷗と柏戸 横網昇進	(8. 1)第1次釜ヶ崎事件3日間続く	('9. 1)府労働部西成分室設置
62年(S. 37)	(4.18)「青田買い」の傾向強まる ベトナム戦争おこる (8.12)堀江謙一、ヨットで太平洋横断に成功 三宅島22年ぶりの大噴火	あいりん学園開設 (10. 1)あいりん貯蓄組合(あいりん銀行)開設 (12.)市立愛隣寮完成	(10. 1)西成労働福祉センター設立 (12.17)雇用主懇談会 (12. 1)年末友の会奨励金付貯金 (2.31)越年対策で救世軍・自衛館等への宿泊依頼
63年(S. 38)	(6. 5)黒部第4発電所完工式 (11. 9)三池三川鉱炭塵爆発 (1.12.2)ケネディ大統領暗殺	(5.17)第2次釜ヶ崎暴動 (8. 1)釜ヶ崎暴動満2年 警戒体制 (12.31)第3次釜ヶ崎暴動	(6.10)求職の登録開始 (7.19)バスによる移動事務所、現場で業務開始 (10.)「常用化支度貸付金貸与・常用化援助金支給」実施
64年(S. 39)	(10. 1)東海道新幹線開業 (10.10)東京オリンピック	(9. 1)三角公園に大型テレビ設置	(3.18)現地懇談会 (9.)日雇労働者健康保険加入手続き事務開始
65年(S. 40)	(2. 7)アメリカ、ベトナムで北爆開始	(6.)今池生活館開所	(4.)日雇労働者失業保険加入手続き事務開始
66年(S. 41)	(4. 4)NHKテレビ、ドラマ「おはなはん」を放映 (7. 1)雇用対策法施行 (7. 1)港湾労働法施行	(3.15)第4次・(5.28)第5次釜ヶ崎暴動 (6.21)第6次・(8.2)第7次釜ヶ崎暴動 (6.)「釜ヶ崎」を「あいりん地区」の名称に	労災立替貸付業務開始 (9.28)第1回「蒨芸の夕」開催 (10.11)港湾関係事業主懇談会
67年(S. 42)	(2.17)第2次、佐藤内閣発足 (6.)万博建設工事はじまる	府労働部職業対策課を新設 (6. 2)第8次釜ヶ崎暴動	(10. 2)大阪港湾労働者正常化指導員打合せ会議 (1.)傷病見舞金物品支給開始
68年(S. 43)	(6.26)小笠原諸島、日本復帰 (10.31)ベトナム北爆全面停止	(1. 1)大阪自衛館内に「南山寮」を新設	(1. 2)直行奨励金の支給開始 (1. 2)短期宿泊援助開始
69年(S. 44)	(7.20)米アポロ11号が月面着陸 万博関連事業工事の追い込みはじまる	(1.18)あいりん総合センター起工式 (5.23)全港湾建設支度西成分会結成機関紙「大阪城」発行	(4.26)「慰安の夕べ」開催 -以降中止 (5.)労災受任者払申請受理される(阿倍野労働基準監督署)
1970年(S. 45)	(1.14)第3次佐藤栄作内閣発足 (3.14)万国博覧会大阪で開催 (1.12.5)三島由紀夫事件発生	(4. 1)あいりん職安設置(仮庁舎) (5. 1)地区で初の「釜ヶ崎メーデー」開催 (9. 1)社会医療センター開所 (10. 1)あいりん総合センター開所 (12.30)第9次釜ヶ崎暴動	(4. 1)日雇労働者失業保険取扱事務は以降あいりん職安で (5. 1)あいりん総合センター完成 取扱う。 (10. 1)あいりん総合センター内に事務所移転 年末友の会事業打切り (12.30)中央詰所焼打ち、センター事務所への乱入をうける。
71年(S. 46)	(6.17)沖繩返還協定調印 (8.15)ドルショック	(5.23)第10次・(6.13)第11次釜ヶ崎暴動 (9. 7)夏期福利厚生措置費支給(以降毎年支給) (9.11)第12次釜ヶ崎暴動	以降求職の登録制度廃止
72年(S. 47)	(1.24)グアム島で元日本兵横井庄一氏が発見される (2.)札幌冬季オリンピック開催 (6.11)田中通産大臣、日本列島改造論発表 (7. 1)田中内閣発足	(5. 1)第13次・(5.28)第14次釜ヶ崎暴動 (6.28)第15次・(8.15)第16次釜ヶ崎暴動 (8. 1)府労働部に特別対策室設置 (9.11)第17次・(10.3)第18次釜ヶ崎暴動 (10.10)第19次釜ヶ崎暴動 (12.26)あいりん総合センター内で爆弾が爆発	(9.)大型技能講習生募集(府・職安・センター連名)

年 代	社 会 の 動 き	地 域	西 成 労 働 福 祉 セ ン タ ー
1973年(S 48)	(10.25) 石油ショック	(4.30) 第20次、(6.14) 第21次釜ヶ崎暴動	
74年(S 49)	(4. 1) 雇用保険法施行	(11.) あいりん総合センター内に「娯楽室」設置	(9.) 部制を4課制に改める。 労働相談窓口専門化する
75年(S 50)	(4.23) 東海道新幹線博多まで延長	(3.10) 簡易宿所「千成ホテル」全焼→4人死亡	(8.) 日雇労働者福利厚生措置、センターで支給開始
76年(S 51)	(10. 1) 「建設労働者の雇用の改善に関する法律」施行	(9.18) 道路尼平線拡張工事着工	(11. 1) 事業所登録制始める
77年(S 52)	(1. 4) 東京・高輪で青酸コーラ殺人事件発生 王貞治通算756号の本塁打を記録 有珠山の噴火	(1.23) 「新大阪ホテル」火災 (6.25) 大正区柳井建設飯場全焼、12名焼死	事業所訪問を始める (6.) 求人開拓勸奨文書発送 (9. 9) 無届求人指導口を設定(毎週金曜日11時より) (11.28) 第1回就労正常化促進週間実施
78年(S 53)	(5.20) 新東京国際空港開港 (12. 7) 大平内閣(第1次) 発足	(4.26) 簡宿「きたぐに」火災 (5.22) アパートT社火災	(1.) 「センターだより」創刊 (6.12) 事務所内に玉出社会保険事務所窓口開設
1980年(S 55)	(6.12) 大平首相急死	(4.) 釜ヶ崎春闘開始	「労働者便利帳」発行
81年(S 56)	(3.20) 神戸「ポートピア81」開幕 建芳法による建設雇用改善計画の第2次5ヶ年 計画がスタート	(3.15) 釜ヶ崎地域合同労組結成 (12. 8) あいりんクリーン推進協議会発足	(3. 5) 「将棋愛好者のつどい」を初めて開催 (6.) 窓口紹介、集中公開方式とる (9. 3) 第1回「たそがれコンサート」開催(府音楽団)
82年(S 57)	(2. 9) 日航機が逆噴射で羽田空港着陸直前で墜落 (4. 1) 500円硬貨発行	(9. 1) 就労申告書制度廃止 (12.4) 第1回あいりん餅つき大会	住民票・戸籍抄本等取り寄せ事務依頼増加 (雇用保険・健康保険等の手続きのため)
83年(S 58)	(4.15) 東京ディズニーランド開園	(2.20) 東組対酒梅組抗争事件発生	(5.18) 4課8係制へ改正、事業所係・労働相談係分離設置
84年(S 59)	(2.) 青函トンネル開通 (7.28) ロサンゼルスオリンピック開催 (11. 1) 1万円、5千円、千円の新札発行	(3.31) 新今宮小中学校廃校 (8.) 雇用保険アプレ手当日額4,100円から 6,200円に改定 (10. 1) 健保就労証明書(申立書)制度導入	紹介待合室の拡張工事 (10.) 大阪溶接協会の協力で「玉掛」「溶接」等の技能 講習の紹介開始
85年(S 60)	(7.) 労働者派遣事業法施行	(3.15) 銀座通り歩道工事開始	(8.29) 「たそがれコンサート」「大阪府音楽団」開催
86年(S 61)	(1.28) スペースシャトル爆発事故	(4. 3) 簡宿高層化と新聞が発表	S57～S62年へと早期求人順調に延びる
87年(S 62)	関西新空港建設着工	あいりん公共職業安定所の有効求職者2万4千名	
88年(S 63)	「花の博覧会」・「学園研究都市」工事着工	(3. 4) 景気は絶対好調と新聞発表	(4.18) 「カマヤンの出た新聞」(センターだより)を発行
89年(H 1)	(1. 7) 天皇崩御 平成となる		日雇(現金)求人数センター発足以来最高の年に
1990年(H 2)	(4. 1) 花と緑の博覧会開幕 (9.30) 花と緑の博覧会閉幕	(3. 1) 釜ヶ崎春闘で一般土工の賃金が9,500円～ (10. 3) 第22次集団不法事案の発生 11,500円に	(9. 6) 「たそがれコンサート」府立淀川工業高校吹奏楽部
91年(H 3)	(1.17) 湾岸戦争突入 (5.) 釜ヶ崎溶岩流村町を押し流す	(3. 1) 釜ヶ崎春闘で一般土工の賃金が11,500円 ～12,500円に	(4.) 3課6係2班制に組織改正 (9.) バブル経済崩壊の兆し、早期求人数減少し始める (11.) 雇用改善推進月間労働部、あいりん職安、センター 三者にて事業所訪問実施
92年(H 4)	(7.) バルセロナオリンピック開催	(3. 1) 釜ヶ崎春闘で一般土工の賃金が12,500円 ～13,000円に	(6. 1) 高齢者就労実態調査を実施